

私は家で新聞を取っておらず、新聞を取っているおじいちゃんの家で少し読んだことがあるぐらいでした。そのため、今のように内容をしっかりと読んで考えることがありませんでした。

今は週に一回の朝の学習の時間に問題として新聞記事を読んでいます。興味がある記事もあり、楽しみながら問題を解いています。これまで解いてきた問題では、大阪にある大型エンターテインメント施設の記事や、グミとキャンデーの売り上げに関する記事がとても印象に残っています。記事に興味があるときもあればそうでないときもありますし、問題が難しかった

抜き出し問題の苦手意識がなくなった



やまもと こうだい
山本 晃大 さん
野里小6年生。クラブチームでラグビーに励む。

読解力と応用力の向上を実感する

自宅では新聞を取っておらず、祖母が読んでいる新聞を週に2回ほど読んでいます。新聞を読むといっても、社会面などはさっと流し読みをするぐらいで、自分の関心が

りすることもあります。言語の勉強とは違った内容を読むことは新鮮で楽しいと感じています。

勉強では、「問題文の中から答えの文章を抜き出しなさい。」という問題への苦手意識がなくなり、得意になったと思います。これからいろいろな記事をたくさん読んで、もっとたくさんさんのことを知りたいです。



こだま なつき
児玉 奈央 さん
吾平中3年生。南日本新聞に作文を投稿し掲載されたことがある。

ある同年年の人が投稿している作文等を読んでいます。

今、二週間に一度、朝の学習時間に「よむYOMUワークシート」に取り組んでいます。特に効果を実感しているのは、国語の問題で文章を読み解くスピードが上がったことです。新聞は、難しい漢字や文章が多く使われていますが、長文であっても理解しやすく書かれており長文問題に慣れてきました。また、数学の応用問題などでも問題の意図に気付きやすくなり、日々の学習や受験勉強に活きています。

新聞を通して社会の動きを知ることのできるのも、これからの読む習慣を大切にしたいと思います。

NewsPaper in Education

読解力のチカラ

市教育委員会では、新聞記事から必要な情報を正確に読み取る「読解力」の育成、物事を多角的に分析する「論理的思考力」の向上を目的に、本年度から新聞記事を活用した教材「よむYOMUワークシート」を市内小学生(5～6年生)、中学生(1～3年生)に導入しています。

実際に朝の学習時間に活用している学校で話を聞きました。



国語だけでは読解力の必要性



くらた ゆら
倉田 由良 教諭
野里小学校6年生を担任。同小には赴任2年目となる。

「よむYOMUワークシート」を実践し始めてから約5か月が経ちますが、子どもたちに様々な好影響が出ていることを実感する日々です。

授業では目にしない新鮮な記事が多いため、子どもたちは初めて知る内容に楽しそうに取り組んでいます。SNSやネットを中心に「自分が興味を持つ情報」ばかりを取得しがちな世代だからこそ、学校の取り組みを通じて社会の幅広い情報に触れることは、新鮮で良い刺激になっているようです。

ワークシートを重ねるうちに、文章から必要な情報を取り出すスピードが明らかに速くなりました。テストの正答

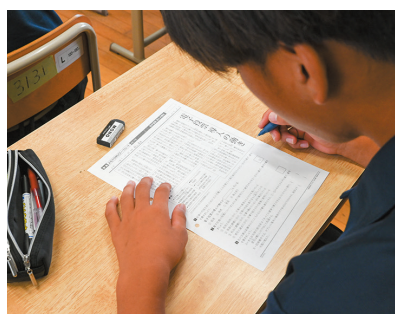
率が向上するなど、子どもたちの読解力が伸びていることも見て取れます。また、文章を最後まで集中して読み切る力が身に付いたことで、国語だけでなく算数の文章問題といった他教科の学習にも大いに活きています。

問題は10分ほどで解ける手頃なボリュームであり、朝の学習時間にも最適です。記事で読んだ内容が普段の授業と結び付き、学びの相乗効果も生まれています。同僚の教員も「短時間で効果が上がる」と高く評価しています。

家庭でニュースに触れる機会が減っている現代だからこそ、この取り組みが子どもたちの視野や知識の幅を広げる貴重なきっかけになっていると確信しています。



▲個々で問題を解いた後にグループで話し合う様子



▲朝の学習で「よむYOMUワークシート」の問題を解く様子。

新聞のチカラ



文部科学省は「第6次学校図書館図書整備等5か年計画」(令和4年策定)において、児童生徒が豊かな資質や能力を身に付けることを目的に、学校図書館への新聞の複数紙配備を進めています。

新聞を読む学習は、読解力の向上だけでなく、小論文の作成能力や、情報の正しさを見極める「メディア・リテラシー」の習得にも効果があるとされています。

こうした新聞を活用した学習は「NIE(=Newspaper in Education)」と呼ばれ、1930年代にアメリカで始まり、現在では世界80か国以上で実践されています。

また、「よむYOMUワークシート」は、厳選した新聞記事を問題形式で学ぶことができる教材であるため、学習効果がさらに高まることが期待されています。